

第12回三島（粟島・飛島・佐渡島）交流会 in 粟島 ～繋げよう三島の絆～

9月4・5日の二日間にわたって、第12回三島交流会が粟島で開催されました。飛島からは、飛島コミュニティ振興会会長の佐藤勝一さん、とびしま未来協議会会長の松本友哉さん、中村地区2組組長の進藤雪夫さん、齋藤理博センター所長、合同会社とびしまの渡部さん、小川さんほか、酒田市、山形県、ジオパーク関係者、東北公益文科大学(学生13人)の参加があり、飛島33名、佐渡島15名、粟島59名で総勢107名の参加となりました。

一日目は、釜谷地区でわっぱ煮定食をいただき、午後より岸本誠司さんの案内で釜谷地区ジオスポットを見学、粟島浦村役場に移動し「山形県沖の地震 これまでの研究で分かっていたこと、地震で分かったこと、まだ分からないこと」と題し、東京大学地震研究所 篠原雅尚先生、(公財)地震予知総合研究所振興会 石辺岳男先生、時事通信社解説委員 中川和之先生のセミナーに参加、その後①ジオ・自然保護②防災地域づくり③観光連携に分かれて情報・意見交換がありました。夜の懇親会では釜谷地区獅子保存会による悪魔祓いがありました。

二日目は、①ビーチフォトフレーム作り②キーホルダー作りを楽しみ、IR東日本企画 太田英彦さんの「三島交流を繋げる観光連携の提案」のプレゼンがあり、最後に呉尚浩教授より講評がありました。

三島交流会終了後、粟島の防災訓練に参加してきました。

来年は、飛島での開催となりますので、ご協力をお願いします。



＝しまかへ幕引き祭＝

今シーズンの営業終了に伴い、「しまかへ幕引き祭」を10月14日に行いました。

野外の席に座るのが少し肌寒く感じられるような天気でしたが、約20名ほどの島民・関係者の方にご出席いただき、盛会のうちに終わることができました。

4月28日から今シーズンの営業がスタートし、延べ4,372名の方にご来店いただきました。営業中には、ご来店いただいたり、アドバイスをいただくなど温かく見守ってくださり、ありがとうございました。



アイランダー2019 11/23・24
池袋サンシャインシティ 文化会館3F 展示ホールC

全国の島々が集まる祭典「アイランダー2019」が、東京・池袋サンシャインシティで開催され、飛島からはとびしま未来協議会会長の松本さん、合同会社とびしまの小川さん、渡部さんほか、飛島中学校同窓会の澤口啓さん、酒田市、山形県ほか17名で出展して参りました。毎年どこもやっていないような変わったことをやろう！という思いで取り組み、今回の飛島ブースでは、



「飛島空想水族館」というプロジェクトを実施しました。空想した生物で架空の水族館を作るという、新しい試みです。このワークショップでは、想像をはるかに超える141名の方に参加いただき、大盛況となりました。

2日間の会期中には、夏に島ターンで飛島に来てくれた大学生や、毎年飛島にボードウォッチングするために訪れている方などたくさんの方々が応援に駆け付けてくれました。

出展を重ねるにつれ、様々な方や離島関係者とのつながりが強く大きくなっていくのをひしひしと感じます。

島ターン実施報告



今年の夏も「島ターン（飛島でプチ移住体験事業）」を実施しました。

今年は、滞在期間が短い島キャンプも同時に開催し、若者を中心に合わせて12名の方が島に来てくれました。

今年の参加者の中には、その後も2度続けて島に訪れる方もいるなど、飛島に関心を持ち、継続して関わっていける関係を築くことができました。

島民の皆様には、参加者の受入れなどにご協力いただき大変ありがとうございました。



【山形県庄内総合支庁総務課連携支援室】